

1944

主張ヲ固執シ更ニ讓歩ノ色ナク爲メニ曰ク經ニ此ニ
形勢不穩ニ傾キ此ノ任放任スルニ於テハ容易ニ解
決ヲ見ル能ハズルヨリ所轄京橋築地警察署署長
ニ於テ苦勞費取立ニ警費先カ共ケル所アリ至一結果
昨十四日午後一時罷工例ヲ代表シ印刷工聯合會
部部長田部若吉郎ハ會社ニ出頭シ社長佐藤安六
部部長會見ヲ遂行快方ニ関シ意見カ交換シ船田
ハ二部部長ハ解雇ニ對スル年當罷業中ノ日給支
給ニ對シ社長長ノ意見ヲ表シ社長ハ増給ハ調査ハ
上適當ノ時機ニ於テ相考ノ増給ヲスル旨ヲ聲
明シ船田ハ更ニ其ノ時機ノ責以テ迫リタルニ其不
能ナルニ認明ヲ得テ之ヲ諒トシ解雇年當ニ関シ
ハ社長長ハ五日ノ日給ニ週五分内一名ハ一年

以上勸説スルニ付更ニ一週間分ヲ支給スルコトヲ
提議シ船田ハ尙ホ之ヲ擯シ主張スルニ社長長ハ
容ルル所トナラズ罷業中ノ日給ニ對シハ昔而シテ
長ノ日給ノ三分一ヲ提言スルニ船田ハ今日給ヲ
主張結局三分一ニ折合シ次ニ五日以内分ヲ解
雇ノ出サシムルノ諒解ヲ得テハ股罷業職工ニ禮儀
スル上ノ必要ノ返事ヲ爲スベシトシ會見約一時間
ニシテ終了シ正進會社事務部長引込ニ同ニ會
見艱難ヲ報告シ上ニ多少不滿ヲ唱ルル者ナキ
ニアラザリシニ大多數ハ之ヲ承認スルコトニ決シ
午後三時十分存和田榮吉部部長印刷聯合會
部西橋進午解雇職工村上史郎等分ニ各別留
聯工票取立ニ分一名ト共ニ會社ハ別リ再々社長